

和名	分類	特徴ほか	会える場所								
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他					
アオバセセリ	セセリチョウ科	緑色のセセリ 後羽のダイダイ紋	X	X	○	本州以南					
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹					発生回数/年		越冬形態				
アワブキほか					2		蛹 (さなぎ)				



川崎市 5月3日 (2019年) ヒメウツギに飛来



川崎市 4月28日 (2019年) ヒメウツギで吸蜜 目が愛らしい



川崎市 4月29日 (2020年)、独特の金属光沢

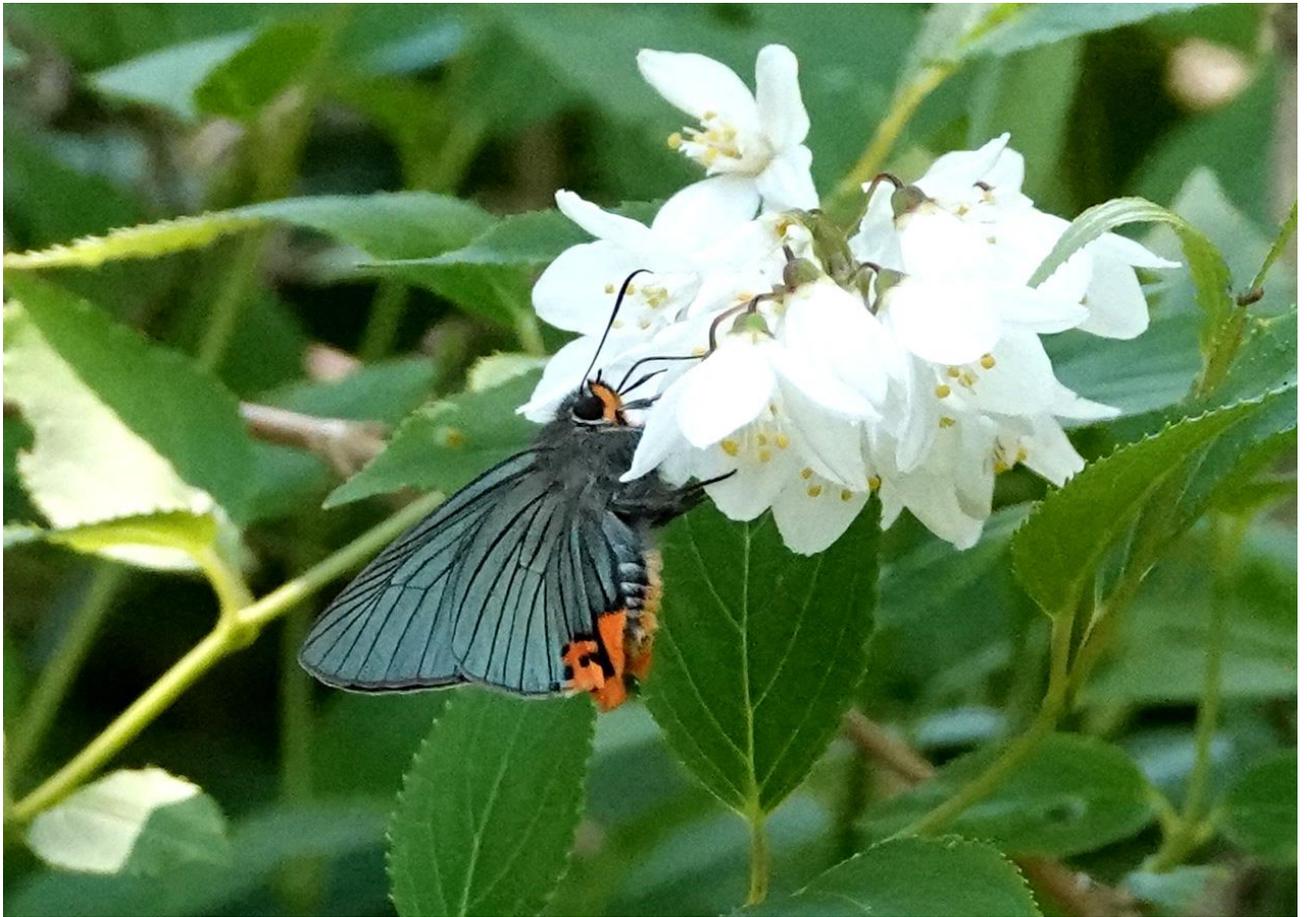


川崎市 4月29日 (2020年) 飛来すると睨んだヒメウツギの前で待ち伏せた作戦が功を奏した

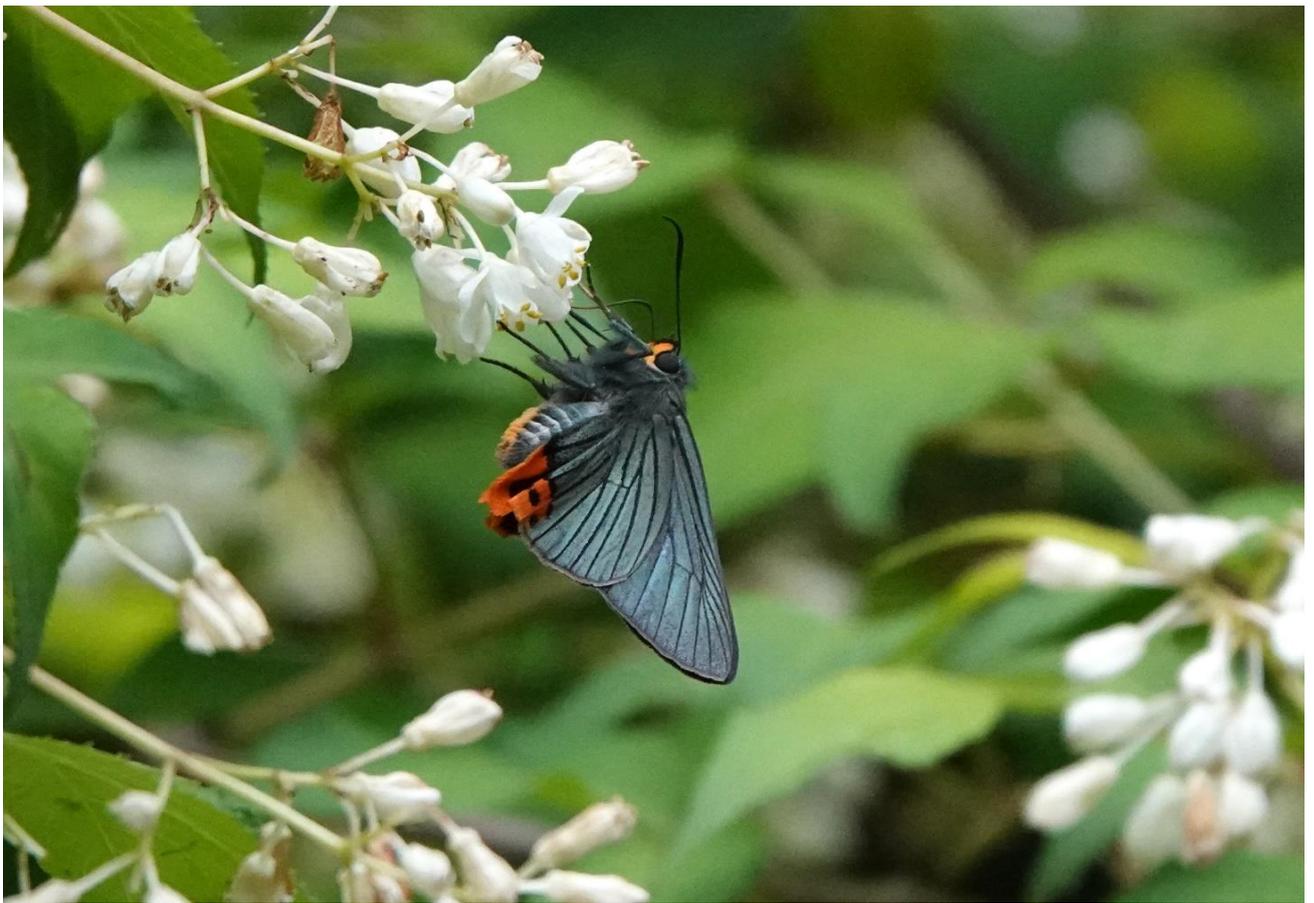
セセリチョウの重鎮です。アオバセセリを含めセセリは一般的に飛ぶのが速いのですが、花を訪れて吸蜜するときだけはゆっくりと観察することが出来ます。

茶系の多いセセリの中で緑色とその補色の橙色の組み合わせは美しく、また、広い分布の割には数が少ないことから人気者で、ウツギの花が咲く頃の生田緑地にはこの蝶の撮影目的で大きなカメラをかかえた人たちが花の周りに集まりますが残念ながら最近ではその姿を見ることは殆どありません。

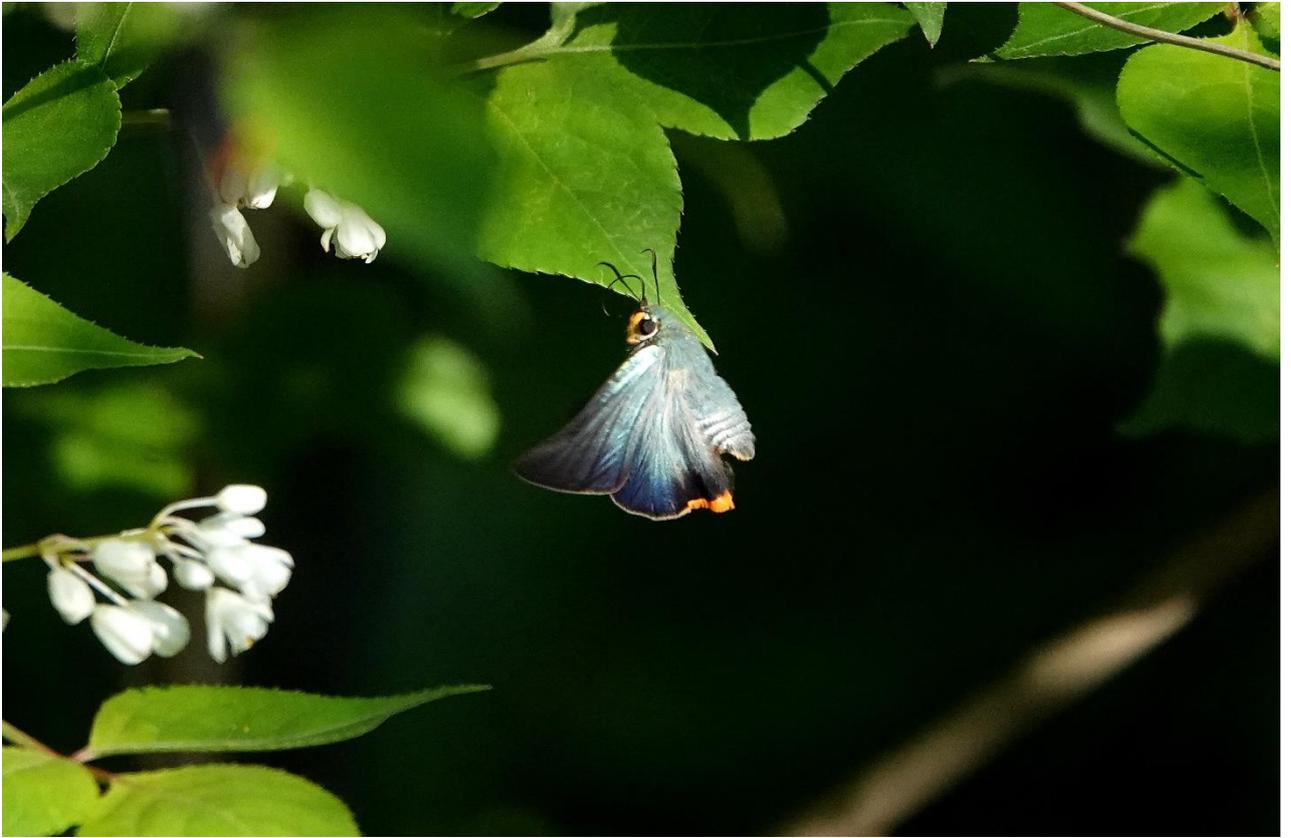
4月下旬頃から生田緑地はにわかに活気づき、キツツキが巣作りを始め、菖蒲池ではシュレーゲルアオガエルの合唱と共に無数のオタマジャクシが泳ぎ、ハチたちはせっせと花を巡ります。いよいよ、いろいろな蝶たちが次々と姿を見せるシーズンの開幕です。



川崎市 4月29日（2020年） 裏の青緑とオレンジの補色の組み合わせの妙



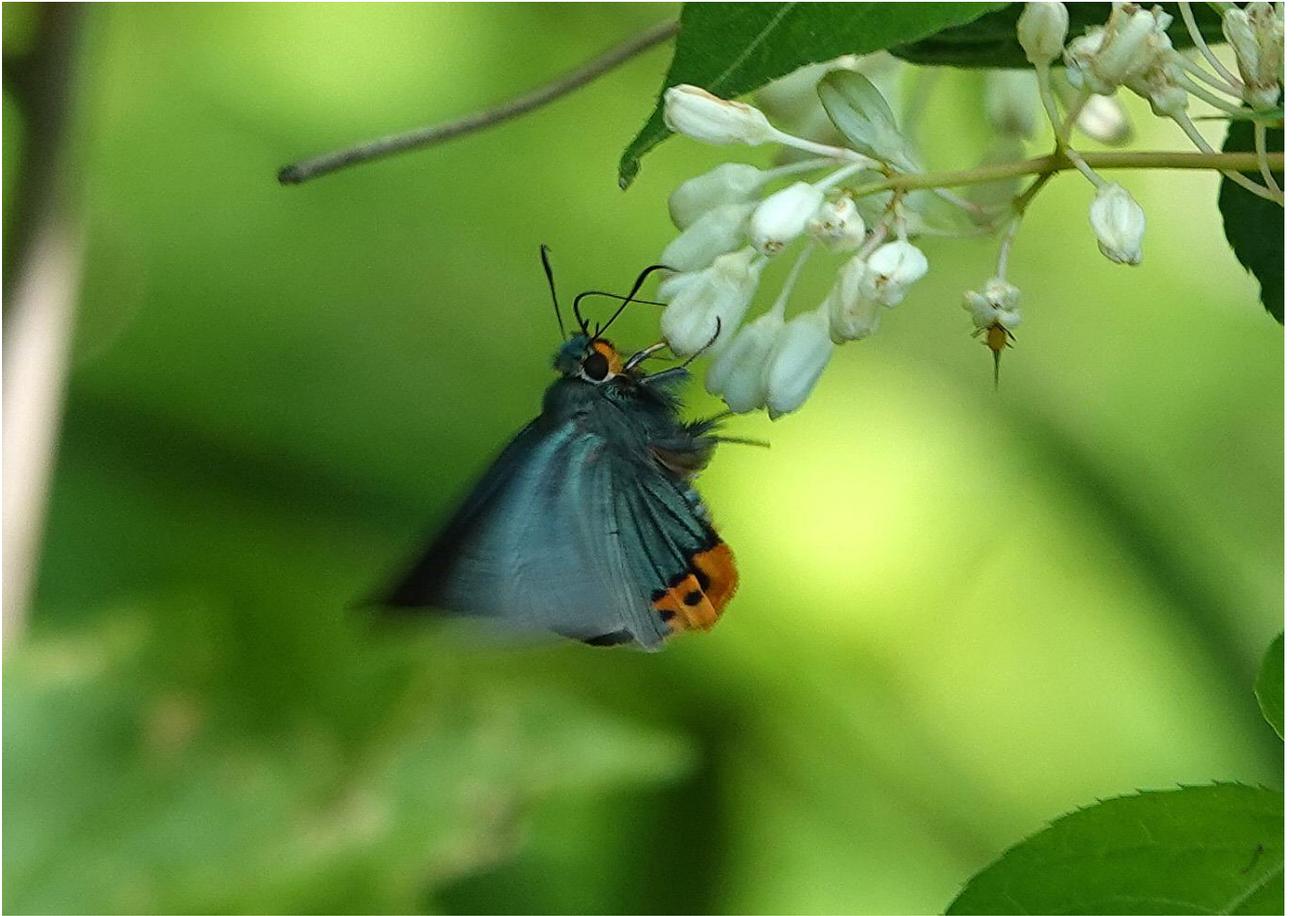
八王子市 5月8日（2022年） 待ち伏せ作戦の成功例。落ち着きなくすぐ花を変えるので撮る方も慌てがち



八王子市 5月3日（2024年） ウツギもセセリも新鮮な理想的なタイミング



八王子市 5月4日（2024年） ウツギに飛来するアオバセセリ



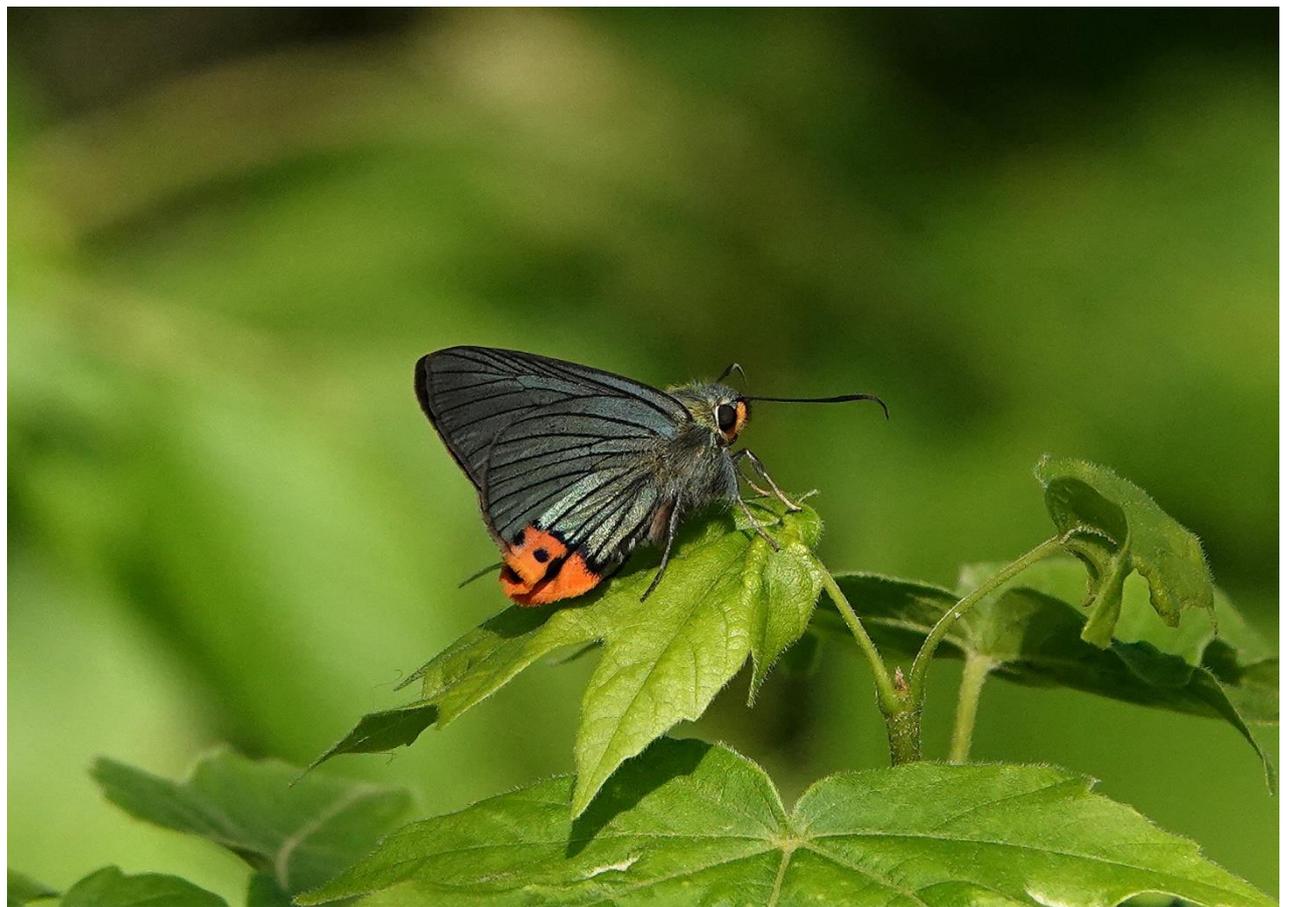
八王子市 5月4日（2024年） 連写の設定を間違えてかえって躍動感が出た怪我の巧妙



八王子市 5月4日（2024年） 飛来してとまるまさにその瞬間



八王子市 5月2日（2024年） 葉上でテリトリーを張る。緑と橙の補色の取り合せが美しい



八王子市 5月3日（2024年） 葉上でテリトリーを張る。西日を受けると豪華に輝きを強める



八王子市 4月30日（2025年） 葉上でテリトリーを張る。春の蝶が遅れ気味だったが昨年並みの発生時期



八王子市 5月3日（2025年） 葉上でテリトリーを張る。引いて見ると全体の雰囲気がよくわかる